

い手対策」、「森林認証の普及」について、活発な議論を行いました。

最後にドローンの取組について、愛媛署丸田地域林政調整官が実物を見てもらいながら、操作方法と今後の業務への活用等について説明を行いました。ドローンについては県関係者の関心も高く、検討会等の開催を依頼される等、今後更に関係者が連携しより効果的な活用につなげていくことを確認しました。

愛媛大学生への森林・林業現地説明会開催 〈愛媛森林管理署〉

七月十五日、四国局と愛媛大学との連携協定の一環として、農学部森林資源学コース三回生二二名に對



挨拶する木村業務管理官

し、国有林の現地説明会を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、四国局木村業務管理官から「本日の現地説明会が皆さんの進路や研究テーマの参考になれば幸いです」との挨拶がありました。

説明会では、あいなやま相名山国

運材までの一連の作業について説明があり、実演ではスギ立木が伐倒される度に学生から歓声があがっていました。

続いて、おもごやま面河山国

有林一二林班の面河四国カルスト自然休養林内に移動し、国



生産現場での造林作業見学

有林二〇林班の森林整備事業（保育間伐活用型）の現場にて、丸田地域林政調整官が事業概要について説明を行いました。さらに請負事業体の（株）いぶきの白川部長から森林作業道の作設、伐倒、造材、有林のレクリエーションの森制度について中井総括森林整備官より説明をうけ、林整備官より説明をうけ、自然休養林内の歩道を散策して、雄大な原生林と清流に触れてもらいました。

最後に、（株）久万木材市場にて、国有林材の販売制度等について牛尾主任森案内、本田森林技術指導

自然休養林内での説明



官から四国局の業務概要の説明を行うとともに、愛媛大OGの毛利技官から入庁後の体験談などの説明を受け、盛り沢山の内容となりました。

なお、今回の現地説明会の模様については地元新聞紙に掲載され、当署の取組

を広く県民にPRする良い機会になりました。



久万木材市場での見学



平成二七年、三月に締結した「赤羅木山・大モリ・

佐々連尾山地域森林整備推

進協定」に基づく森林共同施業団地の連絡調整会議を、七月二六日協定者の森林整備センター松山水源林整備事務所関係者、四国局及び当署関係者が参加して開催しました。



連絡調整会議の様子

この森林共同施業団地

は、当署土居森林事務

所部内の佐々連尾山国有林一〇四三林班(二九六ha)と隣接する水源林造成事業地(二〇〇ha)の合計二九六haを設定したものです。

会議では、昨年度

の実施状況について報告を行うとともに、本年度のそれぞれの事業計画及び今後の課題等について協議を行いました。

現地においては、森林共

同施業団地全体の区域確認と民有林側の森林作業道の計画路線の遠望を行い、来

幅員の確認状況



年度以降の線形について協議するとともに、本年度に開設中の森林作業道の現場において幅員やヘアピンカーブの作設状況等の確認を行いました。

本年度から二年目に入り、民有林・国有林それぞれに課題はありますが、お

互いが連携協議して少しづつでも事業を前進させるとともに、愛媛県内の民国連携のモデルとなるようにしていくことを確認しました。

年間を通した 森林環境教育 〈ふれあい推進センター〉

六月二十七日、愛媛県松野町立松野西小学校の四年生十八名を対象に、森林の働きや校庭にある樹木の名前や特徴を調べて、樹木名板や樹木の立て札を製作、設置することにより、樹木

への感心を持ってもらおう について説明しました。 じく、四年生十八名 樹木名板出来たよ

と、本年度第一回目の森林 説明の後、校庭で実際に 環境教育を実施しました。 生えている三十三種の樹木 が、第二回目の森林 環境教育として木工

四万十川森林ふれあいセ の観察をしました。生徒は、 クラフト製作を行いました。
ンターの活動内容について 樹木の前では、木の名前や
説明をした後、大切な自然 特徴について説明をうけた 始めに、木材は軽

の一つである「森林の働き」 後、教室で、ヒノキの樹木 くて丈夫なことや



校庭の樹木学習の様子

名板に、ポスターカ ラーで科名と和名を 書き、余白には、思 い思いのイラストを 描いて樹木名板を完 成させました。出来 上がった樹木名板 は、児童の手で早速、 校庭の樹木に取り付 けられました。

加工しやすいことか ら、いろいろな生活 用品に使われ、私達 の暮らしを快適にし

てくれるすばらしいもので あること、きちんと手入れ をすれば千年以上もの耐久 性のある建物もできること など、木の良さや特性等に ついて説明しました。 供達は、作りたいものを決

七月六日には、同 刃物や道具を使つての自 め、一生懸命にミズメやヒ



樹木名板出来たよ

メシヤラ、ウツギなどの木の枝を使って木工クラフトづくりにも挑戦しました。慣れないノコギリやクラフトナイフ等を使っての作業でしたが、手作りの置物、ブローチ等を完成させました。

オリジナル作品を製作したことで、木のぬくもりや、素材としての木材の良さについて感じてもらえたのではないかと思います。今後の予定としては、「空飛ぶ種子」や「水の土壌浸透実



木工クラフト製作の様子

四国四県木材協会等 団体長会議が開催

〈愛媛森林管理署〉

七月二〇日、松山市内において、平成二八年度四国四県木材協会等団体長会議が開催されました。

各県担当者より平成二八年度の各県毎の新規・重点事業についての説明がありました。また、各県木材協会等代表から本年度の重点事業について、全国木材組合連合会の島田副会長から木材産業の中央情勢等について説明がありました。

局からは田口森林整備部長、吉良企画官、川畑署長が出席しました。

続いて情報交換に移り、各県毎の原木生産量、木材・木製品出荷額の現況や木材輸出状況など他県への問い合わせ事項等について報告

会議では、田口森林整備部長より平成二八年度の四国局の事業概要について、

がなされ、それぞれの報告

田口森林整備部長より四国局の事業概要説明



に対して活発な質疑応答が行われるなど有意義な意見交換の場となりました。来年度は、香川県で開催する予定です。